

開催日時 2024年7月27日 (土) 午後1時30分
場 所 コープあおもり本部 (県民生協あかしや館2階集会室) Zoom併用
参加者 15名 (内Zoom2名)

■古村一雄共同代表から、この間のむつ中間貯蔵施設安全協定に関する、青森県民集会、県の主催の説明会にむけての学習会、説明会等について、本日の会議で、取り組み方・内容についてどうだったか、今後にむけた行動についても忌憚のないご意見を出しあってほしい旨のあいさつがありました。

進行、阿部一久共同代表が担当。

【報告】

- 5月19日 「使用済核燃料搬入反対現地集会」むつ市で開催
101名参加 Zoom15名
- 5月22日 第1回運営委員会 青森市
・むつ中間貯蔵施設使用済核燃料搬入に反対する諸行動について
・「11・30全国フォーラム」取り組みの経過
- 5月29日 青森県知事に公開質問状・要請書を提出 午後1時30分
参加 共同代表他 7名
- 6月16日 「むつ中間貯蔵施設への使用済核燃料搬入反対青森県民集会」
・準備の段階で雨、集会は小雨、デモは晴れ 参加者110名
・新潟より小木曾茂子さん参加
- 6月19日 青森県議会議員全員に「使用済核燃料貯蔵計画及び安全協定
(案)に関する要望書」を配布 (中止を求める意見、理由)。
- 6月26日 安全協定締結・県民説明会に資するための「学習会」
・むつ中間貯蔵施設安全協定に関する問題点について
・参加者 40名 Zoom 9名
- 7月 1日 「安全第一を考え安全協定は締結しないように」要望書提出
記者会見 (乾式キャスク製造での不適切行為について)
- 7月 2日 ・リサイクル燃料備蓄センターに関する県民説明会 青森市
- 7月 3日 むつ市
- 7月 4日 八戸市 十和田市
- 7月 5日 弘前市 五所川原市
- 7月6日～7日 むつ市主催で 脇野沢・川内・大畑3会場で開催

- ・すべて会場にも、県民の会メンバーが参加し、多数の意見書を提出・挙手でも意見あり。
- 7月 3日 青森県が「核のゴミから未来を守る青森県民の会」に文書回答
 - ・6月28日までに文書回答要望したが、5日遅れでの回答（別紙資料1・回答書）
- 7月10日 FoE Japan（エフ・オー・イー・ジャパン）主催
 - むつ中間貯蔵施設・住民説明会で異論続々
 - 「下北半島を核のごみ捨て場にはいけない」報告会
- 7月19日 むつ中間貯蔵施設への使用済み核燃料の搬入の中止を求める要望書
 - 東京電力社長 小早川 智明様 へ提出 県民の会で賛同
 - ・原子力規制を監視する市民の会・規制庁・規制委員会を監視する新潟の会・国際環境 NGO FoE Japan の呼びかけ
 - 全国8675筆65団体の賛同で提出
 - 内容は・使用済み核燃料の発生者として東京電力は第一義的な責任を負わなければならない
 - ・むつ中間貯蔵は搬出先を示すことができず、核のゴミ捨て場となるおそれが高い
 - ・住民をだまし討ちにするようなやり方でむつへの搬入を強行すべきではない
 - ・行き場のない核のゴミをこれ以上増やさないためにも柏崎刈羽原発は再稼働すべきでない
- 7月21日 マグロック 大間現地集会 集会デモ参加者250名

【協議事項】

1、むつ使用済み核燃料搬入阻止「前半」の活動についての評価

(1) 集会の持ち方等について

- ① 6・16 県民集会の開催日や時間設定
- ② 集会への参加人数とデモ行進の設定
- ③ 激励にかけつけてくれた県外からの反原発グループとのかかわり方

■ ・発言者の時間が予定より長くなって。事前をお願いしてあるが、時間を守るようにお知らせパネル等を用意が必要。

・参加者に高齢者が多いので、集会、デモの時間を十分配慮が必要。

・他県からの激励にかけつけてくれた方への対応にももう少し配慮が必要だったので。他県、他団体との連携を大切にしていけることも必要。

(2) 県民説明会について

- ① 事前の学習会の取組
- ② 県民説明会は意義があったのか
- ③ 知事は青森会場のみに出席したが、一言も発言無し

■説明会は既成事実のためのように感じるが、それでも事前の学習会をし、参加したことで、多くの意見や質問が出されマスコミ等に報道され、問題点も少なからず表に出された。

(3) 不正キャスクなどの追及

2、むつ中間貯蔵施設使用済核燃料搬入について抗議行動の展開について

(1) 7月末には知事が安全協定締結の判断

- ・判断に対する知事への公開質問状提出と要請

(2) 8月、安全協定締結

- ・青森県庁前での抗議集会等

(3) 9月使用済核燃料搬入への対応

- ・現地での抗議集会等

■早々に県は締結にむけ、日程も今日の段階で不明。知事への判断に対する。抗議を含めて、要請・公開質問を行うことなどを取り組むことを確認、緊急の連絡となることを了承してもらう。内容についても共同代表に一任を確認。抗議、要請に対する内容についても意見がありました。

■下北の会では7月29日（月）午後4時30分～むつ市に協定締結の再考を求めて申し入れ。（栗橋さん報告）

(4) その他行動など

3、「使用済核燃料の不正キャスクに関わる」原子力規制庁との交渉

青森選出の高橋千鶴子代議士を通じて、上記の問題で規制庁と話し合うことになりました。

- ① 交渉月日 8月7日（水） 11:00～12:00
- ② 場所 国会衆議院第2議員会館 会議室
- ③ 対応 申し入れ（内容）大竹進運営委員が中心となって問題提起し、Zoomで交渉する。アドレスは後日
- ④ 交渉内容等 別紙資料2

■全体で了承・できるだけの参加をお願いします。

3、「11・30全国フォーラム」取り組みについて

- (1) 日時、場所、主催、メインの講演は「おしどりマコ・ケン」さんに決定してい

ますが、その他の内容についてはまだ
具体的になっておりません。

早急に企画委員会を開催し、進めていきます。

次回 企画委員会は8月18日

■具体的な内容を検討のためまず、8月9日（金）午後1時30分より

青森県労働福祉会館4階。共同代表、事務局会議（実行委員会）を開催する。

8月18日（日）午後1時30分より、

コープあおもり本部（県民生協あかしゃ館2階集会室）

企画委員会（県民の会共同代表・運営委員・事務局）を開催決定。

参加をよろしく願います。（後日案内文を発送）

【別紙資料】

1、質問状に対する回答について（令和6年7月3日付 青原日第121号）

2、8・7原子力規制庁との懇談（文責：大竹進）

■その他三浦さんより青森県消費生活基本計画関連事業の中の防災危機管理避難生活に必要な物資等に予算・環境放射線対策予算等について説明。

追記

「緊急・抗議・要請、公開質問状を提出」について

7月29日、宮下知事はむつ中間貯蔵施設への使用済核燃料搬入の受入を表明。

1時間に亘る記者会見を行いました。『「覚書」「六ヶ所の再処理工場の長期利用、搬出先を六ヶ所再処理工場と明言」したことで、一定の懸念も払拭されると思う』と。

発言。「サイクル事業の輪の一つ（中間貯蔵施設）が動くことは大きいと思っている」など、国の方だけ向いて、県民を蔑ろにしている。知事には強く抗議しなければならないと思います。

県民の会として、下記の行動を行います。

■**県に対して抗議を含め、要請、公開質問状を提出します。**

日時 8月9日（金）午前9時30分～ 9時集合でお願いします。

場所 青森県議会議員面談室1

※ 参加できる方は8月6日までに連絡をください。

■**調印式に対する抗議行動を予定**

日時 8月9日（金）午後4時～

場所 青森県庁 正面玄関前 歩道で行います。

※ 調印式の場所、時間はまだ未定です。

抗議の詳細については後日早めにお知らせします。

